

編集後記

ここに、学内教員の皆さん、学位授与者の皆さん、その他の関係する方々のご協力によって、年報第15号を発行することができました。今回は、特集テーマを“環境科学の目で見た滋賀の地域”としています。

特集記事では、この滋賀県場で研究を進めている大学人として、滋賀県という地域と何らかのテーマで関わってきたであろう立場で、そして、環境科学部の持つ幾つかの学問分野の視点や関わりで、滋賀県を－自然、地域、行政などについて－どう見ているのか論じて頂きました。13名による執筆（視点）では、到底、滋賀の地域に関わる論点で論じることにはできませんが、それぞれの論文が滋賀の地に関わる何らかの問題提起を含んでいると思います。これらを皆さんに読んで頂き、何らかの議論のきっかけができれば幸いです。

本年報の原稿提出メ切りが過ぎて、しばらく経った3月11日でした、東日本で東北地方太平洋沖地震が発生し、大地震、大津波、原子力発電所大事故という3重にも重なる大災害をもたらしました。この場をおかりして、亡くなられた多くの方がたの御冥福をお祈りします。また、多くの被災者、避難者の健康問題や精神的問題などが今後も起こってくることを考えれば、災害はまだまだ進行中と考える必要があります。放射線被曝の問題も心配です。復興には何年もの歳月と巨額の資金、人的労力を必要としています。そのために、大学人、研究者として、企業人、団体人として、学生としてあるいは市民として、何ができるか考え、実行していきましょう。

環境科学部年報委員会

委員長 水原 渉
委員 後藤 直成（環境生態学科）
高橋 卓也（環境政策・計画学科）
高田 豊文（環境建築デザイン学科）
上田 邦夫（生物資源管理学科）

環境科学部 環境科学研究科 年報第15号 環境科学の目で滋賀の地域を見る

発行日 2011年3月31日
発行所 滋賀県立大学環境科学部
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
Tel 0749-28-8301
発行人 布 野 修 司
印刷所 富士印刷株式会社
表紙写真 滋賀県 提供